

## 編集 後記

医学部の入学試験で面接を受け持つようになって大分経つ。「なぜ医師になることを決心したのですか」というお決まりの質問の回答を延べにすれば100人以上聞いているはずだ。

「知人が病気になったときに医師の働きを目の当たりにして」、「医師である父の仕事の幼い時から見ていて」というような回答がほとんどだったように思う。入試の面接だから、たとえ思っていたとしても言えないだろうが、未だかつて「食いはぐれがなさそうだから」とか、「世間体がいいから」というような答えは聞いたことがない。

さて、本号掲載の英文原著は医師不足とともに大きな問題となっている看護師の離職の要因を探るものである。看護師になる動機は何なのだろう。看護の仕事は医師に負けず劣らず医療の質を左右する重要な責務である。労働負荷も相当なものである。にもかかわらずその報酬は一般のOLよりはいいかもしれないが、世間が羨むようなものではない。勝手な想像ではあるが、看護師の仕事に強いやりがいをもたなければやっていられないのではないかと、思ったところで偶々目の前にいた看護師さんに「どうして看護師になることを決めたのですか」と聞いてみた。入試の面接ではないので彼女は正直に答えてくれた。「ナースのお仕事」というドラマを見たことが大きいですかね」

期待や想像していたものと現実のギャップが大きければ大きいほど失望感が強くなるのは当然だ。しかし、期待

### 次号予告 (第56巻・第6号)

#### 特別論文

特定健診・特定保健指導に関するアンケート調査結果……………畝 博, 他

#### 原 著

地域高齢者の客観的咀嚼能力指標としての色変わりチューインガムの有用性について

……………谷本芳美, 他

事業・社会資源の創出に関する保健師のコンピテンシー評価尺度の開発

……………塩見美抄, 他

#### 資 料

父親の育児支援行動に関連する要因の分析

……………成瀬 昂, 他

わが国における社会福祉・介護の法的権利保障の現状

1960～2005年までの判決分析から

……………松澤明美, 他

#### 連 載

運動・身体活動と公衆衛生(10)……………川久保 清

わが国の結核対策の現状と課題(9)……………高鳥毛敏雄

心理社会的要因の測定(3)……………堤 明純

と現実とのギャップが大きいのは今に始まったわけではなく、いつの時代にもどこの場所にもあるものである。一概にドラマのせいにはできない。問題なのは日々の環境に対する失望にも揺らぐことのない「目標」や「やりがい」を簡単に持てるほど世の中がシンプルでなくなっているということだろうか。(佐藤敏彦)

## 『衛生行政大要 第22版』刊行のご案内

本書は、保健衛生行政に従事している方々、これから志す方々および地域保健の実務に携わる方々のための保健衛生行政の現状と課題を解説する書として、昭和31年来、刊行を続けています。

今年度より全面実施された医療制度の総合的改革、改正された老人保健制度に基づく特定保健指導の実施をはじめ、昨今、保健衛生行政を巡る動きには激しいものがあります。また、インフルエンザ等感染症の問題など様々な課題が山積しております。少子・高齢化が顕著な現代社会において、特に衛生行政サービスは、保健・医療・福祉間相互の連携を密接にした新たな展開が求められています。

本書では、これらの内容を、今日の時点で整理し、更に充実を図る改訂をいたしました。前版に引き続き、第22版(約296頁)も是非お手元におき、参考にさせていただきたいと思えます。

### <目 次>

#### —総 論—

第1章 衛生行政の基本的な考え方 第2章 衛生行政制度の現状

第3章 社会保障制度

#### —各 論—

第1章 保健及び関連福祉 第2章 医療 第3章 薬事 第4章 生活衛生

第5章 環境保健 第6章 学校保健 第7章 労働衛生 第8章 国際保健

定価3,700円(税別) …第21版と同じ価格に据え置きました。

お近くの書店へご予約お申し込みください。

当協会へ、直接、まとめてご注文いただける場合は、以下の割引がございます。

10～29冊…15%オフ(3,145円 税別)

30冊以上…20%オフ(2,960円 税別)

## 第20回アジア太平洋癌学会

会 期：2009年11月12日(木)～14日(土)

会 場：つくば国際会議場 (エポカルつくば)

テーマ：“Cancer Control-Setting the Focus on Unique Asian Pacific Contributions”

会 長：赤座 英之 (筑波大学大学院 腎泌尿器外科学・男性機能科学 教授)

URL：http://www.apcc2009.org

演題登録：2009年3月3日(火)～8月31日(月) 正午

事前登録：2009年5月14日(木)～10月15日(木) 正午

### 【参加費一覧】

参加カテゴリー	早 期 登 録	当日登録
	2009年5月14日(木)～10月15日(木)	
医師・企業関係者	30,000円	40,000円
研修医・コメディカル	15,000円	20,000円
学生 (学部学生・大学院生)	5,000円	5,000円
同伴者	5,000円	5,000円

### 【お問い合わせ先】

日本コンベンションサービス株式会社

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル18階

TEL：03-3508-1214 FAX：03-3508-1302 E-mail：20th-apcc@convention.jp

## 第58回東北公衆衛生学会 (秋田) 案内

学 会 長：本橋 豊 (秋田大学大学院医学系研究科教授)

期 日：平成21年7月24日 (金)

会 場：秋田県総合保健センター

秋田県秋田市千秋久保田町 6-6

後 援：秋田県, 秋田市, 秋田県医師会, 秋田県歯科医師会, 秋田県薬剤師会, 秋田  
(予 定) 県看護協会, 秋田市医師会

プログラム：一般演題

特別講演 (11:00～12:00)

「地域保健医療の再生に向けて何ができるか?～公衆衛生の立場から」

福田吉治教授 (山口大学医学部地域医療学講座)

参 加 者：東北地方の公衆衛生に関心をお持ちの方 (特に制限はありません)。

参 加 費：抄録代として当日会場受付で受領します。

一般：2,000円

学生：1,000円 (大学院生は除く)

—問合せ—

第58回東北公衆衛生学会事務局

秋田大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学講座内 担当 金子, 太田

〒010-8543 秋田市本道1-1-1

TEL 018-884-6087 FAX 018-836-2609 E-mail：phinfo@med.akita-u.ac.jp